

# 新中崎分署建設設計業務 実施設計 完了報告

## 【1】建設整備の方針

現中崎分署において耐震性能の不足や老朽化が進行していることなどを踏まえ、災害活動拠点として高い耐震性能を有し ながら、環境にやさしく、経済的で機能性に優れた庁舎を整備します。

また、災害事案や救急事案において安全・確実・迅速に活動が行えるよう、消防機能を重視するとともに、日頃の訓練活 動の様子が風景の一部に溶け込むことで、市民に安心感を与えられるような庁舎を目指します。

### 【2】財源検討

本物件は耐震化に伴う移転により国の財政措置である「緊急防災・減災事業債(充当率100%、交付税算入率70%)」の対 象となります。

## 【3】事業スケジュール

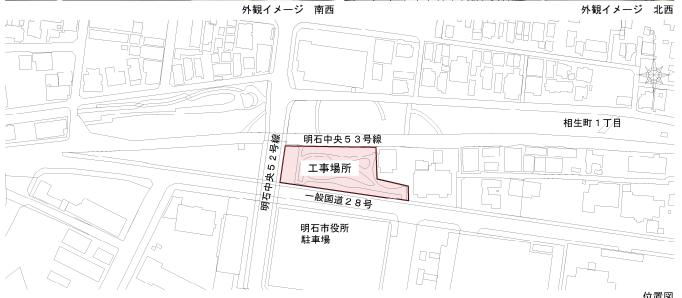
	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)
新中崎分署	基本設計	実施設計 敷地整備 先行工事	施工者選定	建設工事 関連工事	2027年度 供用開始 (予定)	
市役所新庁舎(参考)	実施設計	施工者選定		建設工事・引越(予定)		2028年度 供用開始 (予定)

【4】設計の方針				
(1)現中崎分署棟の課題		(2)整備方針	(3) 設計の基本的な考え方	
①耐震性能の不足 ②老朽化の進行 ③津波等の浸水による影響	<b>&gt;</b>	ア 災害に強い庁舎	<ul> <li>・耐震性能は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」に基づき、最高水準(構造体: I 類、建築設備: 甲類)の安全性を確保する計画</li> <li>・防水板、適切な室配置による浸水対策</li> <li>・自家発電機の導入</li> </ul>	
<ul><li>④バリアフリー・ユニバー サルデザインへの対応不足</li><li>⑤資機材等の収納不足</li><li>⑥資機材等の充電スペースの未設置</li></ul>		イ 機能性に優れた 経済的な庁舎	<ul> <li>・出動時間の短縮を最優先とした配置計画及び動線計画</li> <li>・屋外階段や、壁の一部を訓練施設として利用するなど、 屋外空間を最大限に利用した訓練スペースの計画</li> <li>・バリアフリー・ユニバーサルデザインを導入し、エレベーターや多機能トイレを計画</li> <li>・車庫内の収納や資機材庫、倉庫の確保</li> <li>・資機材等の充電スペースの設置</li> <li>・室の用途を兼ねるなど、工夫を凝らすことで必要最小限の床面積とし、建設コストを低減</li> <li>・適切な機能選定によりライフサイクルコストを低減</li> </ul>	
⑦維持管理コストの増大	<b>&gt;</b>	ウ 環境にやさしい庁舎	・省エネルギーに配慮した計画 ・日照時間が長い地域特性を活かした太陽光発電システムの 導入 ・緑化計画、色彩計画、木質化などの環境・景観への配慮	



外観イメージ 南東





## 【5】基本設計概要

#### (1)動地概要

(1) 敖地佩女	
所在地(地名地番)	明石市相生町1丁目93番6
面積	1993. 31 m²
用途地域	近隣商業地域
防火地域	準防火地域
建ペい率	80 %
容積率	300 %
その他	埋蔵文化財包蔵地等

#### (2) 建築概要(2025年1月時点)

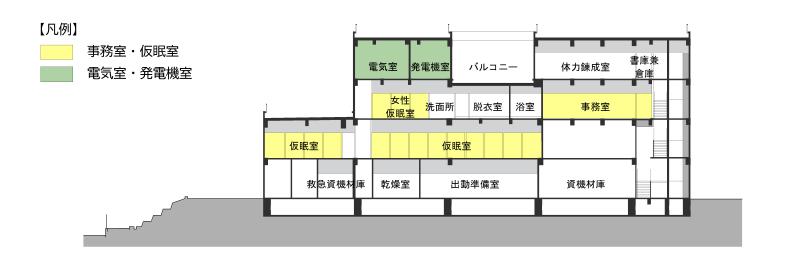
一,							
布設名称	新中崎分署						
見模・構造	地上4階建て・RC造						
<b>建築面積</b>	約	859. 66	m²				
延べ面積	約	1, 993. 06	m²				
最高高さ	約	18. 80	m				
既算工事費	約	18 億	門				

## 【6】構成イメージ

(1) フロア構成イメージ ・出動時間を短縮するため、建物中央に消防専用の階段を計画します。 ・市民が安全に来庁できるよう、各階のホールと階段等の共用部を東側にまとめ、 来庁者動線と出動動線が交錯しない計画とします。 4階平面イメージ 事務室 3階平面イメージ 2階平面イメージ 出動準備室 1階平面イメージ 【凡例】 消防機能 共用部 消防専用階段 出動動線 — 来庁者動線

### (2) 階構成イメージ

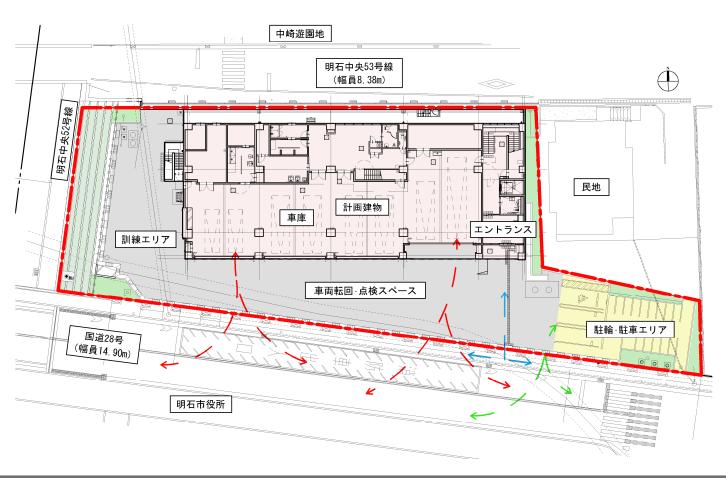
- ・常時職員が勤務している事務室と、夜間出動に対応するための仮眠室を低層階に配置し、出動時間を短縮します。
- ・電気室、発電機室は、浸水の危険性がない高層階(4階)に配置します。

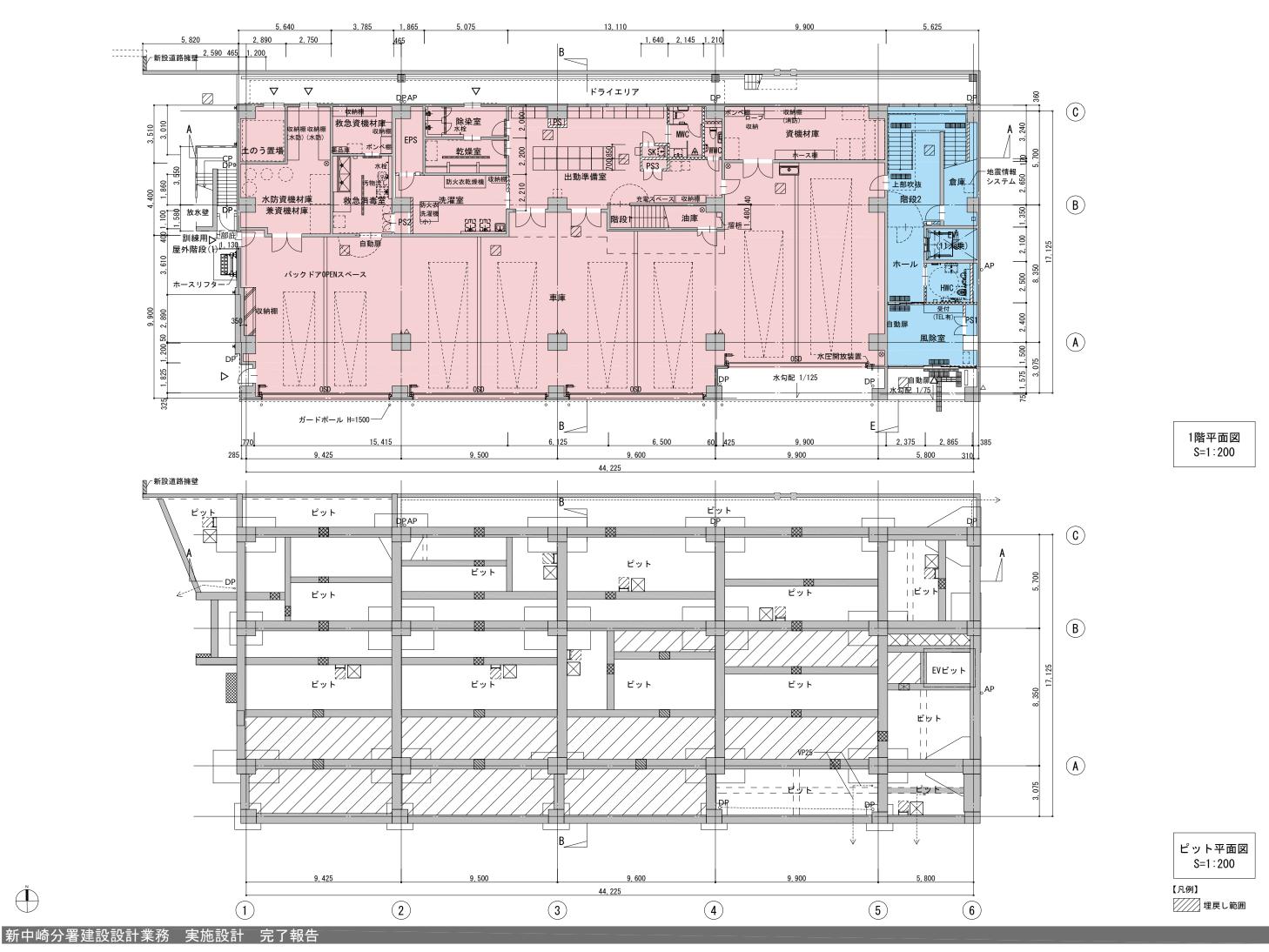


## 【7】配置計画

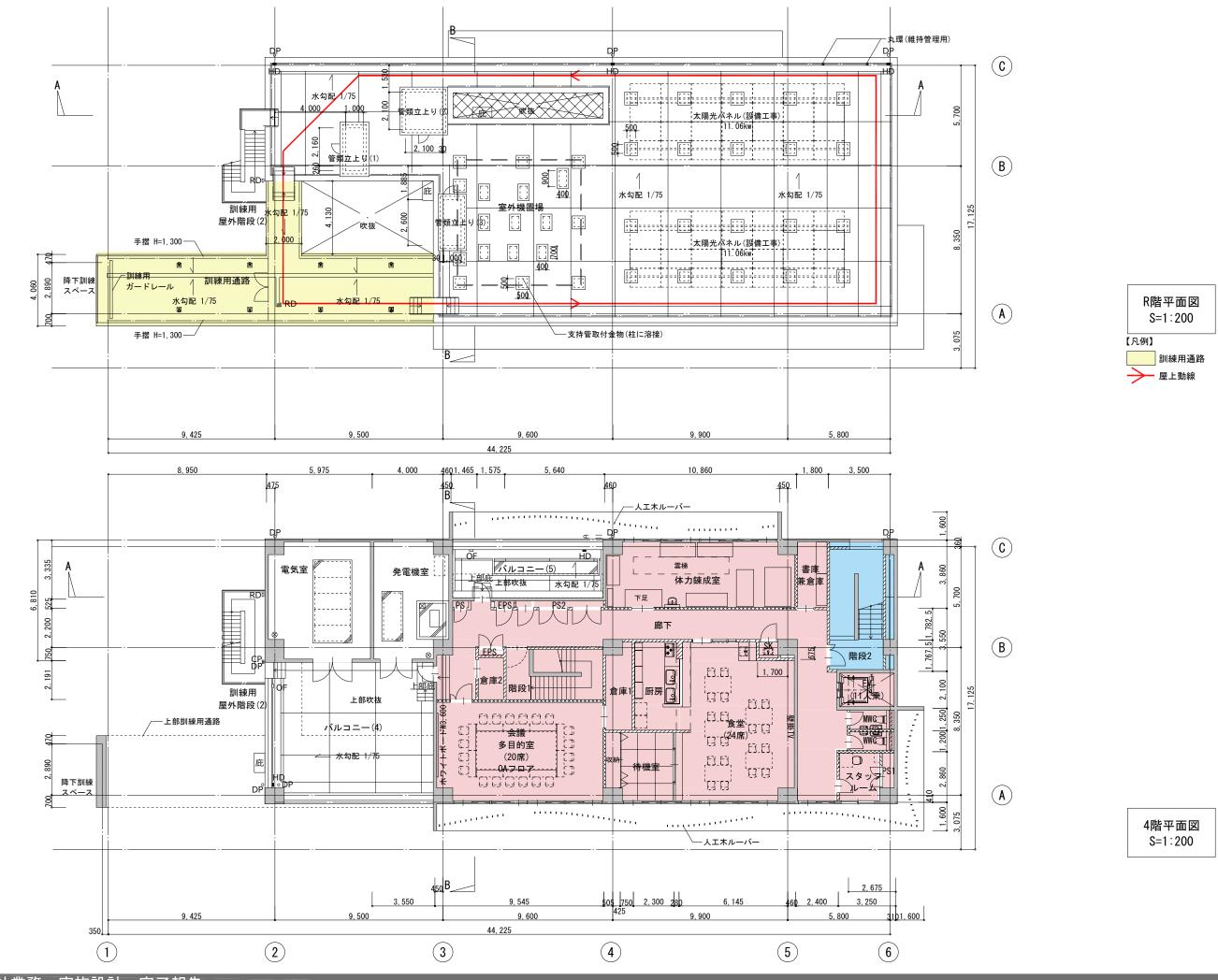
- ・敷地内の埋設配管を避け、建物を北東に寄せた配置とします。
- ・消防車両を迅速に出動させるため、車庫を幹線道路に面した南面に配置します。
- ・建物を北側市道と平行に配置し、敷地南側に消防車両の転回・点検スペースを確保します。
- ・敷地東側は住宅と近接していることから、駐車・駐輪エリアとします。











### ■立面計画



